

政策リエゾンと SciREX センターとの意見交換会について

2020 年 9 月

政策研究大学院大学 SciREX センター

2020 年 4 月 1 日付けで SciREX センター長が交代したことから、就任の挨拶と共に、今後の SciREX センターの活動の方向性について議論することを目的として、政策リエゾンとの意見交換会を 2 回実施した。政策リエゾンとの連携を今後も検討していく。

■ 第 1 回意見交換会

1. 日時：2020 年 5 月 7 日（木） 15：00-16：30
2. 方法：ウェブ会議
3. 参加者：23 人（政策リエゾン 7 人、文部科学省 SciRX 事業関係者 4 人、SciREX センター 12 人）
4. 議事次第：
 - (1) センター長（角南篤）挨拶（10 分）
 - (2) SciREX 事業及び SciREX センターの最近の活動状況の報告（10 分）
 - SciREX 事業の活動状況（5 分）
 - SciREX センターの活動状況（5 分）
 - (3) 意見交換（80 分）
5. 議論の概要：

SciREX が 10 周年を迎える中で、最後の第 3 期においてこれまでとは異なる次元の活動としていくために何が必要か、今後の方向性等について議論を行った。SciREX は政策と研究の共進化を軸に取り組みを進め、中には政策貢献しているものもあることから、成果のアピールに努めるべきとの意見が寄せられた。また、SciREX を通して政策コミュニティが着実に広がっているが、一層、全体としていかに盛り上げるかが課題として提示された。EBPM の流れが高まる中で、大学と政策の現場をいかにつないでいくか、つなぎ人材の重要性や、研修や教育を通したリテラシーの向上、小さな実証とアジャイルな政策形成の仕組みの必要性等について議論がなされた。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた今後の科学技術イノベーション政策についても議論がなされた。

■ 第2回意見交換会

1. 日時：2020年7月16日（水） 15：30－17：00
2. 場所：文部科学省 15F 特別会議室
3. 参加者：8人（若手・中堅の政策リエゾン 4人、SciREX センター 4人）
（オブザーバー（政策リエゾン） 2人）
4. 議事次第：
 - (1) センター長挨拶（5分）
 - (2) 参加者自己紹介（5分）
 - (3) 意見交換（70分）

5. 議論の概要：

若手・中堅の政策リエゾンを中心に、今後の SciREX や政策リエゾンとしての活動の方向性、SciREX センターとの関り、政策リエゾン同士の横のつながり、SciREX への期待と課題等について意見交換を行った。研究プロジェクトやサマーキャンプへの参画など個々の関係はあるものの、政策リエゾンとして積極的に踏み出すきっかけがなかったとの声が寄せられたことをきっかけに、行政官と研究者が気軽に議論できる場としてブラウンバッグ・セミナーを開催する案が浮上した。また、若手・中堅の行政官の立場として、過去の事例から科学技術イノベーション政策の現場で必要とされる知見やマネジメント能力を学ぶことができるケースメソッド教育のニーズが寄せられ、行政官研修や講義で活用可能な教材開発に向けた検討を行うこととした。

以上